



イタリアで話題沸騰の感動作、待望の邦訳版出版！

遺された者たちへ マッテオ・B・ビアンキ 著 / 関口英子 訳

最愛の彼を自死で失った僕が、四半世紀を経て書き上げた悲嘆と再生の記録。

1998年のある日、作家のビアンキは7年間同棲して別れた直後のパートナーが自宅で死んでいるのを発見した。やり場のない自責の念や罪悪感、怒りと哀惜、埋めようのない

寂しさ……。同様の経験をした人々に向けて、どのように死を受け入れ、

他人と新しい関係を築いていけるようになったのかを

包み隠さず綴った貴重な体験録。

### サイン会のお知らせ

トークイベント終了後、

マッテオ・B・ビアンキ氏著

『遺された者たちへ』と岸政彦氏の著者(数種類)を販売します。

現地で書籍ご購入の方を対象

に両氏によるサイン会を

開催します。

イタリア文化会館-大阪×大阪市立中央図書館  
第28回大阪市図書館フェスティバル

## 『遺された者たちへ』出版記念トークイベント マッテオ・B・ビアンキ×岸政彦 特別対談

### 申込方法

※事前申込・応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

#### ◆ インターネット

大阪市行政オンラインシステムからお申込みください。ご利用には「個人」としての登録とログインが必要です。



#### ◆ 往復はがき

下記の記載事項を明記のうえ、下記の宛先までお送りください。

#### [宛先]

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2

大阪市立中央図書館

「マッテオ・ビアンキ『遺された者たちへ』

出版記念トークイベント」係

#### [記載事項]

往信通信欄：参加者全員のお名前(ふりがな)・代表者の住所および電話番号・手話通訳をご希望の方は「手話通訳希望」

復信宛先欄：代表者のお名前・住所

#### ◆ ご注意事項

お電話での申込みは受け付けておりません。

1つの申込みにつき、代表者を含め4名まで可能です。

手話通訳をご希望の方は、申込時にその旨を明記してください。

いただいた個人情報は、個人情報保護法ならびに大阪市の関連条例に基づき取り扱い、事業終了後は速やかに破棄いたします。

申込締切：10月2日(木) ※当日必着

### 登壇者プロフィール

マッテオ・B・ビアンキ Matteo B. Bianchi



1966年、ミラノ生まれ。作家、出版人、放送クリエイター。

1999年、ゲイである自らの体験をベースとした青春小説、『Generations of love』で作家デビュー。2023年に発表された『遺された者たちへ』は、パオロ・コニエッティ、

アントネッラ・ラッタンツィらイタリアの名立たる作家が

激賞、大きな反響を呼び、優れたイタリア語の小説に与

えられる《ストレーザ賞》(Premio Stresa di Narrativa)

を受賞した。個人文芸誌、「tina」を30年近くにわたって主宰するほか、出版社

Accentoを創設するなど、若い作家に発表の場を与える活動にも力を入れている。

岸政彦 キシ・マサヒコ



1967年生まれ。社会学者。著書に『同化と他者化——戦

後沖縄の本土就職者たち』『街の人生』『断片的なものの

社会学』(紀伊國屋じんぶん大賞2016受賞)『ビニール傘』

『マンゴーと手榴弾——生活史の理論』『図書室』『地元を

生きる——沖縄的共同性の社会学』(共著)『リアン』

(織田作之助賞受賞)『東京の生活史』(編書、毎日出版文

化賞、紀伊國屋じんぶん大賞2022受賞)『生活史論集』

(共著)『沖縄の生活史』(共編)など。

2025年10月18日(土)

時間 14:00~16:00 (13:30開場)

会場 大阪市立中央図書館 5階大会議室

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2

Osaka Metro千日前線・長堀鶴見緑地線西長堀駅すぐ